

# ハンドボール NO53 (NO50と差替)

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	i
----------	---

年月日	2022年10月7日(金)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

## 公 式 記 録 用 紙

A	千葉県	三重県	B		
	栃木県 下野市 下野市石橋体育センター	会場 下野市石橋体育センター	回戦 準々決勝		
前半	A 11 B 9 最終結果 A 25 B 23	第1延長 A B	第2延長 A B 7mXO- Jアウト A B		
7m得点/総数	A 2/3 1 1024 2 1604 3 2921	チームタイムアウト 1 2 後3 2801 0232	B 1/1 7m得点/総数		
No.	千葉県	G W 2' 2' D DR	三重県	G W 2' 2' D DR	
1	齋田 あやめ		1	田邊 倅	
2	齋藤 史歩	1	2	伊藤 未悠	2
3	伊澤 梨華		3	榑本 有彩	
4	加藤 真央	1 1	4	田畑 結生	2 1
5	東 瑚華	9 1	5	松岡 佑奈	
6	石坂 美紀	1	6	矢田 莉菜	5
7	水谷 美海	5	7	杉本 優空	5
8	中村 真心	5	8	森田 理世	3 1
9	湯浅 栗奈	2	9	上村 花瑠	4 1
10	吉田 心	1	10	孫田 汐	2
11	赤橋 愛未		11	田邊 舞	
12	堀内 雪羽		12	安藤 萌花	
監督A	佐藤 奏吉	1	監督A	蛭川 健司	1
役員B	池田 愛輝		役員B	玉田 浩史	
役員C	浅井 大		役員C	橋本 由紀子	
役員D	大月 爽		役員D	万谷 由衣	

A	佐藤 奏吉 チーム役員A署名	蛭川 健司	B
特記事項			

レフェリー	奥野 晃宇	小川 拓海	奥野 晃宇	小川 拓海
TD	阪口 寛彦	高橋 智	阪口 寛彦	高橋 智
MO	樋口 道夫		樋口 道夫	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール NO49

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

## 試合結果・戦評報告書

競技日	10月7日(金)	試合番号	D-i	回戦	準々決勝
種別	少年女子	会場	下野市石橋体育センター		
Aチーム名			Bチーム名		
千葉県			三重県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	11	前半	9	23	
	14	後半	14		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

前半0:21、先制得点は三重⑥矢田のロングシュートからの1点目。引き続き⑧森田がサイドから2点目。その直後、反撃を試みる千葉⑤東がポストプレーで初得点。互いにスピード感ある攻め合いが続く三重が試合を有利に進める。10:34、千葉は流れを変えようと1回目のタイムアウトを取り、単調なオフェンスを勢いのあるものに変えようとする。12:30、千葉は⑦水谷がサイドシュートから4点目と得点し、主導権奪還を試みるが、直後に美恵⑦杉本の速攻からの7点目を取られる。千葉は⑤東が連続3得点により反撃し、19:26に同点にこぎつける。対する三重は、直後に⑩孫田がポストプレーで8点目、⑧森田がパスカットからの速攻で9点目。千葉に主導権を譲らない。千葉⑦水谷はサイドからの8点目を得点し、追い上げようとし、更に⑤東がフェイントから9手目を取り、同点となる。28:01、三重は流れを戻そうと1回目のタイムアウト。千葉は28:40、エンブティーゴールで2連続得点、流れを変える。

後半0:40、千葉⑥はポストプレーで12点目、その後⑨湯浅がフェイントからミドルシュート、⑧中村が14点目と、3連続得点により主導権を奪う。2:32、ここで後半1回目のタイムアウト三重が取り、直後に三重⑥矢田がロングシュートで10点目を得点し反撃に出るが、千葉はペナルティーシュートを⑤東が決め、更にはミドルシュートで16点目を決める。三重は選手の退場の間に、再度相手からのエンブティーゴールで得点される。リズムに乗った千葉と反撃を試みる美恵との間で競り合いが続く中、16:04に千葉が後半1回目のタイムアウト。一進一退が続く。29:21、1点差でリードする千葉は、後半2度目のタイムアウト。その直後に1点を追加し、25:23の僅差で、千葉が勝利した。

記載者氏名

塚田健夫 ・ 野澤 裕

送信日時

10月7日(金)

: